

①学校名:	神田外語大学 大学院(私立)		②所在地:	大学:〒261-0014 千葉県千葉市美浜区若葉1-4-1			
③課程名:	Certificate Program in TESOL(履修証明プログラム)		④正規課程/履修証明プログラム:	履修証明プログラム	⑤開設年月日:	2020.4.1	
⑥責任者:	TESOLプログラム・ディレクター 関屋 康教授		⑦定員:	8名	⑧期間:	1年	
⑨申請する課程の目的・概要:	<p>新学習指導要領の施行に伴い、高等学校のみならず中学校でもオールイングリッシュの授業が開始され、教科としての英語学習が小学校でも始まるなど、英語教育の充実強化を図る教育改革が進展しており、英語教員として必要な能力も時代の要請に伴い変化している。このような情勢を踏まえ、本学のTESOLプログラム(学位プログラム/履修証明プログラム)では、最新の英語教授法・教育原理を学ぶことにより、高度な専門知識、優れた指導力を兼ね備えた人材を養成することを目的としている。</p> <p>本履修証明プログラムでは、多忙な社会人の多様なニーズを踏まえ、修了要件単位数及び必修科目を厳選し、選択科目の幅を広げており、既にBPの認定を受けているTESOL学位プログラムと同様の科目について、基本的なものに絞って履修することが可能である。</p> <p>受講者は、英語科の教授力、理論に裏打ちされた教室での実践力を身につけ、現職教員等については指導的立場の教育者として、非正規の英語講師等については中学校・高等学校、英語学校等での正規雇用を目指して、キャリアアップを図る。</p>						
⑩4テーマへの該当の有無	有(非正規労働者のキャリアアップ)	⑪履修資格:	4年制大学を卒業して学士(BA)の学位があり、一定の英語力(TOEIC800点以上など)を有し、かつ、現在英語教員として働く者又は将来英語教員として働くことを希望する者。				
⑫対象とする職業の種類:	中学校・高等学校の英語教諭、高等教育機関や英語学校等での英語教員						
⑬身に付けることのできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能)最新の英語教授法・教育原理についての知識とそれを実践する技能; 英語教育に必要な言語学的知識と授業へ応用する技能			(得られる能力)英語による授業力; 自身の授業を振り返り、改善する力			
⑭教育課程:	①「TESOL Methodology(教授法)」科目群では、さまざまな英語教授法やアプローチを学び、自分の授業への活用方法を考える。②「Practicum and Classroom Observation(実習・授業観察)」の科目群では、各自の教育現場の様々なニーズや目的を踏まえ、授業実践を行い、授業を振り返り、改善する力を養う。③「Language Analysis, Acquisition, and Assessment(言語分析・習得・評価)」の科目群では効果的な教育実践を念頭に英語の文法、音声・音韻、語用等に関する理解を深め、言語学習に影響を与える言語的、認知的、社会文化的諸要因に関して理解し、さらに、生徒たちの学びを確認するための評価法を身に付け、自らの教育実践に活かす。						
⑮修了要件(修了授業時数等):	10単位以上を取得すること(最大13単位まで履修可)。						
⑯修了時に付与される学位・資格等:	履修証明書の付与						
⑰総授業時数:	43	単位	⑱要件該当授業時数:	43単位	該当要件 双方向、実務家	⑲要件該当授業時数 /総授業時数:	100%
⑳成績評価の方法:	授業への積極的な参加、授業中のプレゼンテーション、課題提出、最終レポートの評価						
㉑自己点検・評価の方法:	大学・大学院として学校教育法第109条第1項に定める評価を実施するとともに、TESOL運営委員会にて、プログラムの運営上の問題点や改善点を検討し、研究科会議に諮り、TESOLプログラムの内容充実を図っている。						
㉒修了者の状況に係る効果検証の方法:	少人数制の利点を活かし、受講中から修了に至るまで、受講者の状況をヒアリングし、受講前後での能力の向上の状況について確認するとともに、引き続き教員として在職する場合も含め、卒業後の進路についてアンケート等により把握している。把握した結果については、TESOL運営委員会で共有し、次年度以降のカリキュラムの編成の参考としている。						
㉓企業等の意見を取り入れる仕組み:	<p>(教育課程の編成) 高大連携協定の締結校や近隣の高校を訪問し、教員に必要な資質、能力開発に係る意見交換を定期的に行っている。また、ワークショップや教育公開講座において、外部の現職教員と意見交換し、英語を教える教員の悩みやニーズを把握するよう努めている。その他、教育委員会の担当者の授業見学の受け入れ等も実施している。</p> <p>(自己点検・評価)大学・大学院として、公益財団法人 日本高等教育評価機構の第三者評価を受けて、自己点検・評価の適切性を確保している。その結果については、TESOL運営委員会で共有し、適切な自己点検・評価の実施に活かしている。</p>						
㉔社会人が受講しやすい工夫:	(1)社会人が通学しやすい東京キャンパス(神田駅徒歩2分)で、(2)土曜日・日曜日に、開講することで、在職のまま通学できるカリキュラムとしている。また、一部科目についてオンラインでの受講が可能となっており、今後もオンラインで受講可能な科目の拡充を検討している。						
㉕ホームページ:	(URL) https://www.kandagaigo.ac.jp/kuis/grad/language/tesol/						